

試験研究成果普及情報

部門	土壌・肥料	対象	行政
課題名：土壌モニタリング調査による千葉県耕地土壌の情報検索システム（1999～2003年度版）			
〔要約〕本県の代表的な土壌及び産地について土壌モニタリング調査で得られた断面形態、化学性、物理性の情報がホームページ形式で取りまとめられており、土壌の最新の現状が手軽に検索できる。			
キーワード（専門区分）土壌		（研究対象）農耕地土壌	
（フリーワード）土壌調査、土壌情報、化学性、物理性、産地			
実施機関名（主 査）農業総合研究センター 生産環境部 土壌環境研究室 （協力機関）各農業改良普及センター （実施期間）1999～2003年度			

〔目的及び背景〕

近年は作物の生産性向上のみならず、環境保全型農業の推進や未利用資源の農業利用が求められている。これらに適正に対応するためには、生産基盤である土壌の実態を捉えておくことが重要である。そこで、県内の主要な土壌及び産地を対象として、361の定点を設定して土壌調査を実施し、断面形態や化学性、物理性などの千葉県耕地土壌に関する最新の情報を収集した。これらの情報が容易に検索できるように、ホームページ形式のシステムを構築する。

〔成果内容〕

1. 1999年度に安房、夷隅、君津地域、2000年度に千葉、長生、印旛地域、2001年度に山武、海匝地域、2002年度に東葛飾、香取地域において本調査を実施し、2003年度に各地域の補完調査とともに取りまとめを行った。
2. 県内に分布する主要な土壌タイプと産地に設定した96の必須定点では、土壌断面形態と、畑土壌では深さ75cmまで、水田土壌では45cmまで15cmごとに化学性と物理性の調査を行った。265の任意定点では、深さ45cmまで15cmごとに化学性を調査した。
3. 必須定点の土壌情報は、調査地点ごとに深さ別の化学性と物理性の情報に加えて、断面写真や柱状図から、土壌の現状が下層まで把握できるようにまとめた（図1）。地点の一覧あるいは分布図（図2）から、地点ごとの土壌情報を検索することができる。
4. 地目別及び産地別の深さ45cmまで15cmごとの化学性の情報は、必須定点と任意定点の平均値として示した（表1）。地目別では水田、普通畑、野菜畑、野菜施設、樹園地、花き畑、花き施設について県下全域の化学性の平均値が検索できる。産地別では、カンショ、ニンジン・スイカ、キャベツ・ダイコン、ナシ、ストックなど29の産地について化学性が検索できる（図3）。

〔留意事項〕

特になし

〔普及対象地域〕

県下全域

〔行政上の措置〕

技術資料を作成し、CD-ROMに収めて添付する（3月予定）。

〔普及状況〕

特になし

[成果の概要]

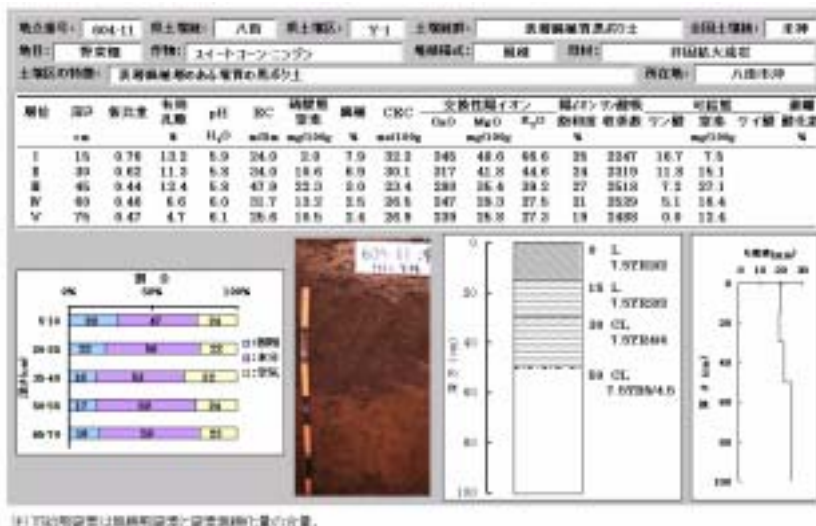


図 1 調査地点別の土壌情報例

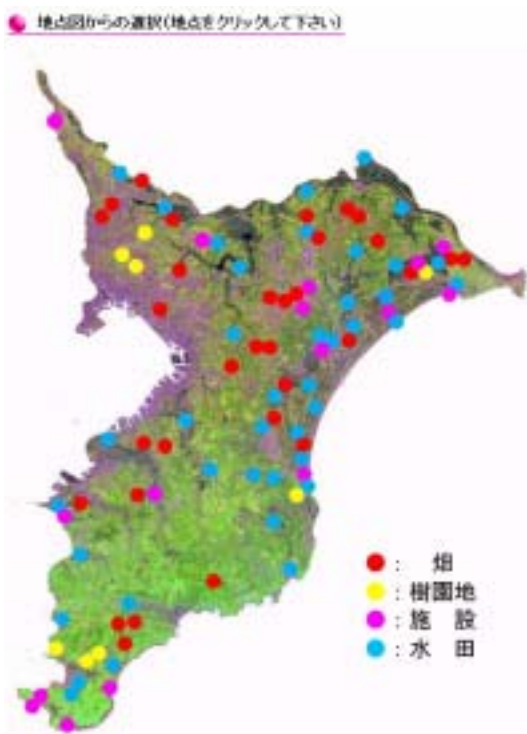


図 2 地点別の土壌情報検索画面

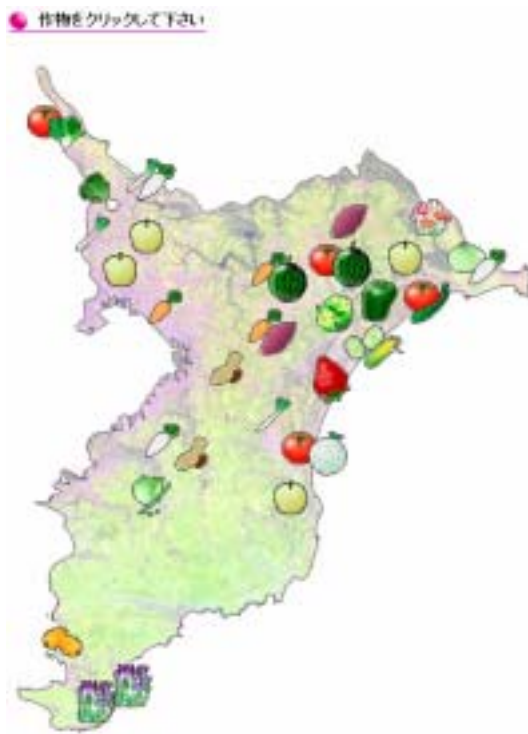


図 3 産地別の土壌化学性情報検索画面

表 1 産地別の土壌化学性情報例

作物	市町村、 地目、土壌	深さ cm	調査 地点	pH	EC mS/m	無機態窒素		Total 窒素 炭素		C/N	交換性陽イオン			リン酸 吸収係数	可溶性		
						NO ₃ -N	NH ₄ -N	窒素	炭素		CaO	MgO	K ₂ O		リン酸	窒素	
スイカ	山武町	0~15	9	6.0	61.5	21.2	1.0	0.40	4.3	35.5	534	115.2	112.4	76	1772	62.1	33.3
トマト	野菜施設	15~30	9	6.0	52.8	14.1	0.9	0.38	4.2	33.8	569	113.8	101.9	83	1798	60.2	25.7
	黒ボク土	30~45	9	5.8	37.4	8.8	0.5			29.1	491	79.4	69.6	76	2041		

[発表及び関連文献]

特になし